



高値が続く子牛市場

しかま 議会 だより

第59号

平成29年2月15日発行

10月・12月 会議

議会懇談会・全行政区で開催……………	2P
12月会議・補正予算他……………	4P
10月会議・検証委員会設置……………	8P
一般質問・8人が登壇……………	9P
議会活性化推進調査特別委員会結果報告…	18P
New Voice……………	20P

議会懇談会 全行政区で開催

— 408名参加 —



多くのご意見頂きました

10月11日から11月18日にかけて、全行政区を対象に議会懇談会を開催しました。名称を変更して7年振りの取り組みに、町民の皆様から歓迎の言葉もあれば、手厳しいご指摘もありました。頂きましたご意見・ご要望は報告書として取りまとめ、また、町執行部へ取り次ぎいたします。今後共「住民に開かれた議会」「住民に身近な議会」を目指し、議会改革を推進してまいります。

厳しいご指摘・ご意見
ありがとうございました

議会懇談会出席状況

1班

月日	地区名	参加人数	佐藤(貞)	田中	中山	工藤	小川	佐藤(文)	白井	小松
10/11	南大	13	○		○	○	○	○	○	○
10/19	北大	18	○		○	○	○	○	○	
10/24	伝八・除	9	○		○	○	○	○	○	○
10/31	一の関	11	○		○	○	○	○	○	○
11/1	道命	12	○		○	○	○	○	○	○
11/2	袋	14	○		○	○	○	○		○
11/7	向町	8	○		○	○	○	○	○	○
11/8	二反田	19	○		○	○	○	○	○	○
11/11	宿	45	○		○	○	○	○	○	○
11/16	上郷	23	○		○	○	○	○	○	○
11/17	王城寺 花川・沢口	20	○		○	○	○	○	○	○
11/18	大原	10	○			○	○	○	○	○

2班

月日	地区名	参加人数	今野	山田	天野	西村	福田	河野	佐々木	相原
10/11	小栗山	22	○	○	○	○	○	○	○	○
10/19	平沢	14	○	○	○	○	○	○	○	○
10/20	高根	9	○			○	○	○	○	○
10/24	清水	9	○	○	○	○	○	○	○	○
10/31	鷹巣	17	○	○	○	○	○	○	○	
11/1	志津	14	○		○	○	○	○	○	○
11/2	吉田	5	○	○	○		○	○	○	○
11/7	上高城	25	○	○	○	○	○	○	○	○
11/8	下高城	16	○	○	○	○	○	○	○	○
11/11	下黒沢	20	○	○	○	○	○	○	○	○
11/16	上黒沢	32	○		○	○	○	○	○	○
11/17	新田	23	○	○	○	○	○	○	○	○

町民の声 — 抜粋 —

WiMAX

Q 情報通信施設の現状と、今後の見通しは。

A 平成27年4月から共用開始予定だったが、出来ていない。設計業者が原因調査を実施したが改善できずに昨年8月末で事業を停止させた。

10月31日に議会が開催され、情報通信施設検証委員会関連の補正予算を可決。委員会は29年3月末まで結果を報告する事になっていることから、議会としては、その結果を受けて対応します。

Q 完成していないのに支払いが終わっているのは問題だ。議会で追及しなかったのか。

A この事業は契約した会社が10数社あり、それぞれ納品や工事の完成によって支払っている。議会としては国から採択された事業なので信用して

いたが町執行部に対して何度も確認してきました。

活性化委員会

Q 議会活性化推進調査特別委員会の内容はほとんどが調査中だが、結論は出るのか。

A 委員会は全会一致を原則としている。結論が出ているのは懇談会開催だけだが、時間を掛けて議論しています。

議員定数

Q 27年の活性化委員会で議員定数は16名が適正と意見の一致を見たところだが、その内容は。

A 委員会では削減・現状維持との両論があり、全会一致とはならずこの様な表現になりました。

議会開閉時間

Q 議会の開閉時間の延長や、土日・夜間の議会開催は考えていないのか。

A 検討中です。

バイオマス発電

Q バイオマス発電の進捗状況は。

A トーヨー建設が事業を推進するようです。

花川ダム

Q ダムの現状と、溜池の増水時の対応は。

A ダムは満砂状態で貯水量はゼロです。そのため花川1号・2号・除溜池が作られました。

溜池は常時満水状態にすることから、増水時の対応はできません。

有線放送

Q 全戸に有線放送がなく、小中学生のいる家庭が困っている。

A 有線放送のない家庭はいろいろな情報が共有出来ないのが問題になっている。町に対して有線放送に代わる物の設置を要望しています。

鳥獣被害

Q イノシシの被害が拡大している。対策をお願いしたい。

A 平沢地区で「モデル地区」となって地域ぐるみで対応している。被害も昨年に比べ格段に少なくなりました。

分譲申し込み

Q あたごふれ愛タウンの申し込みで、先着順で商談中にできないか。

A 難しい問題だが、町に伝えます。

議員定数

Q 50考委員会に出ているが、町から提出された資料のみの判断ではなく、議員は何人必要なのかの観点から議論すべき。

A 活性化委員会では、若い人や女性も立候補しやすい環境を検討していきます。

議員の発言

Q 有線放送を聞いていると、聞き苦しい言葉・発言をしている議員がいる。

A 議会での言葉遣いに注意してほしい。懇談会終了後議会内で話し合います。



あたごふれ愛タウンに夢のマイホーム

議会への意見

加茂堂線・四竈1号線舗装工事に 5,100万円

12月会議

歳入の主なもの

町税

● 7414万2000円の増額

内訳は町民個人税2829万4000円、固定資産税3757万5000円、たばこ税827万3000円です。

国庫支出金

● 2398万2000円の増額

社会資本整備総合交付金1300万円の減額および特定防衛施設周辺整備調整交付金の3564万2000円です。

県支出金

● 277万円の増額

主なものは農業用施設災害復旧費補助金214万6000円の増額です。

繰入金

● 3700万円の減額

平成28年度の財政調整基金繰入金の総額は3億5700万円になります。

歳出の主なもの

民生費

● 379万3000円の増額

主なものは介護保健特別会計繰出金100万円や障害者福祉費の扶助費208万円の増額です。

農林水産業費

● 844万2000円の増額

農業伝習館管理費下水道排水管設置工事費などで712万円の増額です。

土木費

● 5152万7000円の増額

加茂堂線舗装工事費および四竈1号線舗装工事です。

災害普及費

● 170万7000円の増額

昨年9月の豪雨災害の復旧に係る荒川堰土地改良区及び金洗土地改良区に対する助成金です。

平成28年定例会12月会議が、12月6日から8日までの日程で開催された。平成28年度一般会計補正予算や特別会計補正予算など4件、条例の制定や改正が8件、大崎市との定住自立圏の形成に関する協定の変更を原案の通り可決しました。
一般質問では、8名の議員が22項目について町政を質しました。
一般会計は、7334万5000円を追加して予算総額44億8732万2000円になりました。

各種会計の補正状況

一般会計	7334万5000円追加	→	44億8732万円に
国民健康保険	31万円追加	→	11億355万8000円に
介護保険	175万円追加	→	8億4472万8000円に
下水道事業	予算の組み替え		
水道事業	収益的支出の組み替え		

一般会計

歳入

町税

福田議員

町たばこ税を、増額した根拠は。

佐々木税務課長

4月1日からの旧3級品の紙巻きたばこの増税もありますが、一番の要因は町内にたばこ販売店が1店舗増えたことです。

中山議員

国庫支出金

国庫補助金で、1300万円減額の理由は。

松崎建設水道課長

減額は、北高城橋の改良工事に係る交付金です。予算要求と内示額の差であり、金額的には半分になったために今回減額しました。

白井議員

特定防衛施設周辺整備調整交付金の現状は。

方に支給するものです。具体的には、父母のいづれかが1年前から色麻町に在住して、出産後6ヶ月以上住民票を有し、町税を滞納しない方です。11月末現在での出生数は22名ですが、要件に該当する方(第2子で6名、第3子で1名)が確定しました。

町長

現状では、演習を実施した場合従来どおり1億800万の交付金を受取る事ができるものと理解しています。

福田議員

オスプレイが演習場に来た際、交付金が増額することはあるのか。

町長

オスプレイが来ることは決定した訳ではありませんし、この件に関する報告は現在ありません。したがって、交付金の金額についてもわかりません。

中山議員

国庫補助金で、1300万円減額の理由は。

松崎建設水道課長

減額は、北高城橋の改良工事に係る交付金です。予算要求と内示額の差であり、金額的には半分になったために今回減額しました。

白井議員

特定防衛施設周辺整備調整交付金の現状は。

教育費

天野議員

学校給食センター運営委員会の人数、報酬及び内容は。

今野教育総務課長

運営委員会の人数は7名です。委員会は学校給食センター運営委員会規定第3条で、教育長の諮問に応じて学校給食センターの運営に関する事項を審議すると規定されています。本年度は8月5日に開催しました。委員7名の内報酬対象は4名です。報酬は1回当たり5700円、出席費用弁償として1000円です。

佐々木議員

母子福祉費は第2子、第3子を対象にしているが、第1子も含めるべきではないか。

町長

第1子に対しても、祝い金を出すべきではないかとの意見も聞いています。この件に関しましては、金額の多少もありますが今後検討します。

中山議員

中学生国際交流推進事業海外派遣研修業務の委託について。

債務負担行為とした理由、なぜ増額になったか。反省点はあったのか。

今野教育総務課長

平成28年度の事業では、現地校での体験入学やホームステイなどの決定に

時間的に余裕が無く大変苦勞しました。よって、今回債務負担行為を行って2月中に業者を決定し、4月から募集を実施する計画です。増額になった理由は4点あります。

天野議員

1 燃料代の高騰
2 燃料サーチャージアップ
3 オーストリアドルの変動
4 事前視察の行程の変更

反省点については、12月12日に保護者及び中学生を対象に報告会を開催し報告書をまとめるようにしています。

相原議員

29年度の業者の選定及び参加人数は何名なのか。

今野教育総務課長

プロポーザルには指名型や公募型がありますが、本年度同様に公募型を計画しています。応募が1社でも審査会を開催し、決定したいと考えています。

天野議員

参加人数は29年度も10名と考えています。

海外研修の募集と選定

方法は。研修の目的はなにか。

今野教育総務課長

中学1年生から3年生までを対象に、すべての情報を提供して参加者を募っています。応募定数を超えた場合には、作文の内容を総合的に判断して決定する方針です。

この研修事業の目的は、次のとおりです。

- 1 語学力の向上と国際的コミュニケーション能力の体得
- 2 海外と日本や色麻町との文化、生活様式の相違点や共通点を学ぶ
- 3 世界の中の自分を意識して海外の人々と親交を深める
- 4 色麻町の次世代を担う国際感覚の豊かな人材の育成

民生費

工藤議員

母子福祉費の内容、執行状況、減額した理由は。

小川子育て支援室長

今年度4月2日から第2子、第3子が生まれた

歳出

大崎市との定住自立圏の形成に関する協定の変更

主な変更点は地域防災力を高めるため、圏域全体で消防団への加入推進を強化し、合同研修会や訓練を実施する。また、大崎地域1市4町を1つのエリアとして、※世界農業遺産の認定を目指すものです。

全会一致で可決

質疑

中山議員

定住自立圏の協定を結んで、どれくらい生活水準の向上が図られたのか。世界農業遺産に申請するのは大崎全体ではどんなものなのか。また、本町ではなにか。

工藤議員

加美病院の休日及び平日夜間の診療体制の確立について管理者としての考えは。

町長

大原企画情報課長
図書館機能とサービスの充実。公共施設の相互利用で同一料金。法律相談の充実や公共交通の運行体系の確立などです。

高橋産業振興課長

メインは米です。何世代にもわたって形づくられた伝統的な米づくりの歴史的な流れや、長い間培われてきた文化などです。本町においては金荒堰

福田議員

休日及び夜間の診療体制の充実で今まで大崎市医師会との契約は発展的解消となるのか。また、円滑な運営に参画するところがあるが負担金は

どうなるか。

鶴谷保健福祉課長

休日・夜間の医師、救急の部分に関しては大崎地区地域医療対策委員会が主体で今までどおり当番の先生が診ます。負担金については大崎市以外の4町で利用額に応じ負担する協定を結び実際にやっております。

条例の制定

色麻町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定

農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員の選出方法が議会の同意を条件とした首長の選任制に変更され、その定数を12人とするものです。

全会一致で可決

質疑

中山議員

なぜ選任制に変わったのか。

また、利害関係のない方とはどの辺を指すのか。農業委員の定数は町執行部と協議して決定したというが、どんな内容なのか。

山下農業委員会事務局長

選任制については全国で選挙を行っていない委員会には90%以上のため、このような経過になりました。利害関係については農業に携わっていない方、農地を所有していない方の中立の立場の方です。

町長

定数については今回、農地利用最適化推進委員会本町では不要のため、農業委員を増やしてほしいと要請があったが、今後推進員を置く必要もあるため、現状維持をお願いしました。



しかまの原風景 いくね

※世界農業遺産とは…

食料の安定確保を目指す国際組織国連食糧農業機関（FAO）が、衰退しつつある伝統的な農業、文化風習、生物多様性などの保全を目的に2002年に開始した認定制度。

条例の一部改正

色麻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

主な改正は勤務時間を1日7時間45分、週38時間45分にするものです。

全会一致で可決

質疑

天野議員

労働基準法との関係から照らし合わせる必要があるのか。

小川議員

なぜ、今この時期になって提出したのか。

曾根総務課長

第32条の規定に特に抵触はしないと考えております。

曾根総務課長

周辺の町村および加美郡保健医療福祉行政事務組合の動向も含め検討してきたため結果的に遅れてしまった。

色麻町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児短時間勤務職員の勤務時間を改正するものです。

全会一致で可決

色麻町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告により法律が改正され、職員の給料を初任給及び若年層は1500円、その他は400円、平均0.2%の引き上げが主なものです。

全会一致で可決

色麻町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

期末手当において給料月額に乗ずる割合を100分の10引き上げるものです。

全会一致で可決

色麻町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

期末手当において報酬月額に乗ずる割合を100分の10引き上げるものです。

全会一致で可決

色麻町職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正

人事院規則の一部改正により休業の再延長ができるものです。

全会一致で可決

色麻町税条例の一部改正

地方税法等が改正され、主なものは軽自動車税の環境性能の性能率の創設です。

全会一致で可決

色麻町国民健康保険税条例の一部改正

外国金融機関から受け取る金利や配当に課税するものです。

全会一致で可決

情報通信施設 検証委員会設置

平成28年
10月会議

平成28年定例会10月会議が10月31日に開催され、一般会計補正予算が提案されました。内容は、情報通信施設検証委員会の設置、及び調査にかかる経費843万円の増額です。

慎重な審議の結果、原案の通り可決しました。

関連補正予算を可決

質
疑

— 歳入 —

中山議員

財政調整基金の現在高は幾らぐらいになるのか。

曾根総務課長

現在高は12億1500万円です。但し予算を取り崩しをしていない段階です。実質的には8億2200万円となります。

— 歳出 —

小川議員

① 未完成WiMAXの工事の進捗状況は。
② 初期の目的がなされて

いない状況で843万円になる金額を出して検証すべきものか。

③ 今後、その費用をどのようにみているのか。

町長

結果として稼働できる状況ではありません。また、かかる費用については町の持ち出しになると思います。

大原企画情報課長

8月末時点で端末約900台弱を配布している状況です。

今後の見通しには、更に時間を要することと他の専門家に今の状況を検証していただくこと

に判断しました。JTTプランニングの作業は何もしておりません。

中山議員

なぜ平行してやるのか。また、原因を調査するためのだけの検証か。今後どのように有効活用していくのか。

大原企画情報課長

各委員が改善策を導き出すために現状を把握する必要な調査です。また、調査の業務と委員の話し合いを平行して進めるものです。

町長

有効活用できるできない

いかも踏まえて検証します。

山田議員

どのような覚悟で第三者委員会なるものに町長として頼むのか。

町長

今のシステムがどうかという判断をお願いし、その上で裁判になるかの判断をします。

天野議員

議会も執行部も町長の稼働しない理由がわからなかったことについて町長の考えは。

また、WiMAXの問題解決および有効活用について町長の決意は。

町長

要するに専門知識は持っていないわけです。結果、業者任せになり業者を信頼して発注したものだと思えます。また、電話機能はだめでも有効活用の意味で一方通行でも活用したい気持ちです。

田中議員

前町長に自分で解決をしてもらおう要請はしないのか。

町長

そういうわけにもいかないで稼働するように努力します。

佐藤議員

発注の仕方に問題があったのではないのか。

町長

発注の内容について問題がなかったのかという思いですが、全ての契約は終わって全部の支払いが終わっている状況で今後どういう費用がかかるかも町で支払う状況にあると思っています。

「議会だより」に掲載する一般質問の内容は、紙面の関係上、質問を要約し、掲載しています。掲載されていない質問項目について知りたい方は、議会事務局に会議録がありますので閲覧下さい。

一般質問



ここが聞きたい 8人の議員が登壇

① 河野 諭議員

- (1) 色麻学園のあいさつについて
- (2) 50考委員会について

② 福田 弘議員

- (1) 色麻町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- (2) 色麻幼稚園の耐用年数等について

③ 工藤 昭憲議員

- (1) 結婚支援相談員について
- (2) サッカー場の利用について

④ 今野 公勇議員

- (1) 色麻学園の様子について
- (2) 結婚支援事業について
- (3) シルバー人材センターについて
- (4) 鳥獣被害対策について
- (5) 保育所待機児童について

⑤ 西村 義隆議員

- (1) 畜産振興について
- (2) 幼保一元化について
- (3) 旧大村分校の利用について
- (4) 学校教育について
- (5) ドクターヘリについて

⑥ 相原 和洋議員

- (1) 学校給食費について
- (2) 空き家対策・活用について

⑦ 佐藤 文洋議員

- (1) 買い物支援ネットワーク構築について
- (2) 直売所への農産物集荷について

⑧ 小松 栄喜議員

- (1) 青年就農給付金制度について
- (2) 野菜生産転換促進事業について

知らない人にも挨拶を

中学生が手本になりやっています



河野 諭 議員

河野

挨拶は社会に出てからも非常に大事なことです。知らない人にも進んで出来るように教育すべきだと思うが。

町長

全校の目標として大きな声で、進んで返事や挨拶をする、時と場合に応じた挨拶の励行に努めています。

大場教育長

中学生が手本となり、小学生への挨拶を心がけ

ることで、相乗効果が高まり、中学生を見て小学生が頑張るようになるのは、小中一貫校のメリックだと思えます。

今野教育総務課長

挨拶は、できていると思います。一人一人が輝いて見えます。今後も継続して一層挨拶が定着するように努めます。

山吹副町長

子供たちの夢の実現のために、町行政も教育委員会とともに、今後もしっかりと取り組めます。



小学生も中学生も先生も

議員定数はどのように決まったのか

間もなく報告書が出ます

河野

50考委員会について質問します。もう既に委員会の意向は出たと思いますが、議員定数はどのように決まったのか。

河野

委員会の中で定数削減をしなくていいと言った方はいるのか。

町長

色麻町の人口減少率は県内4番目になっていました。色々な組織や団体がありますが、議会もスリム化してほしい願いで50考委員会で検討をしてもらいました。

町長

この委員会の趣旨は色麻町の議員定数を審議する私の諮問機関です。委員の方々には自分の考えや、各行政区のいろいろな人の意見を聞いて50考委員会で述べてほしいとお願ひしました。

委員長から正式に報告は受けていません。間もなく報告書が出てくると思います。

河野

色麻町議会は今現在、日本一の議員定数になっています。調べていく中で私は襟を正す必要があると思うが。

住宅リフォーム工事の実績は

現在1件です



福田 弘 議員

福田

色麻町三世代同居支援事業補助金は11月まで何件の申請があったのか。

大原企画情報課長

三世代同居世帯と新たになる方が住宅のリフォーム工事をした実績は1件です。

福田

実際に窓口に相談に来た件数は。

大原企画情報課長

5、6件ありました。実際に補助対象で工事を行ったのは3件です。

新たな三世代の相談に来た方は2件で、そのうち1件が現在工事中です。

福田

該当にならなかった理由は。

大原企画情報課長

町外の工事業者との契約で該当になりませんでした。

福田

町外の施工業者だから支援制度が享受できないのは色麻町への転入を諦める結果になるのでは。

町長

町内の業者の育成を意識してこの事業を進めました。

今のような意見を参考にしてもう少し時間をかけ検討します。

福田

三世代支援事業だけでなく定住促進住宅取得等補助金についても考える余地はあるのか。

町長

その点についても考慮しながら判断します。

幼稚園の耐用年数は

60年です

福田

色麻幼稚園の耐用年数は。

町長

建物は、52年ほど経過しています。耐用年数は60年ですから7、8年はあると思います。

福田

老朽化に加え東日本大震災時の被害はなかったのか。

今野教育総務課長

教室は天井と柱の接続部分の破損が16室、壁ボードの破損が6室、暖房吹き出し口のボード破損が7室という状況でした。



耐用年数がさまっている幼稚園

福田

校舎の内壁のクラックが数カ所程度です。

色麻幼稚園が開園する時点で、テラスの上のひさしを設置した理由は。

副町長

色麻幼稚園を園舎として改修したときに、1階

部分を全部保育室として改修しました。

そのときに1階南側の日照が非常に強いと言う事で、壁面にひさしを取りつけました。

多少心配したのは、地震などでの壁の落下、万が一の場合を想定して、そのような要素も当然加味しました。

事業の進捗状況は

カップルの成立にはいたりません



工藤 昭憲 議員

工藤

180万円の予算で始めた事業ですが、今現在の事業の進捗状況と、年次計画に基づいた事業の内容は。

町長

今までに4組ほど引き合わせをし、現在一組が結婚を前提に進んでいきます。9月時点の登録者は男性が8名と女性が1名、11月末で男性10名女性2名です。また、10月には仙台の企業の協力で、2回交流会を持ちましたがカップルの成立までにはいたりません。

工藤

お金だけ使って成果のないことにならないように、しっかり取り組んでほしい。さらに、来年の計画は。

佐々木社会教育課長

今年は試行錯誤しながらやりましたが、来年は中身をしっかりと検討してやります。また、講師を招いて事業の成功に繋がりたいと思います。

工藤

予算を有効に活用するには、仲人祝金制度を創り、成婚した時最大10万円をだすようにすれば同じ予算で最大18組の成立も可能ではないか。

町長

仲人を育てると言う事と思いますが、難しいと思うので、今のままで頑張ってもらい様子を見たいと思います。

愛宕山の施設利用は適正か

町長の許可があれば良い

工藤

町にある各施設は、適正かつ有効に使うために条例・規則・要綱などを定めています。しかし、愛宕山の施設は条例等に則した使用をしていないのではないかと。

町長

愛宕山公園条例第7条で施設を利用する者は町長の許可を受ければ良く、目的外に利用する時は、5割増しとして、町長の許可を得れば使えます。

工藤

昨年9月に、同僚議員の質問で使えないと答弁しておきながら、今年9月の質問で使えたと答弁している。同じ内容の質問なのに答弁に一貫性がないのはなぜか。

高橋産業振興課長

昨年9月の答弁後再度精査しました。多目的スポーツ施設から、サッカー場に名称を変えただけで、内容は変わらずサッカー以外に使えないと言う条文もなく、現時点では条例違反はないと思っています。



適切な管理で運用を



今野 公勇 議員

国際交流事業と公開研究会の内容は

国際交流は将来の糧となる

今野

色麻学園も3年目に入り順調に推移していると思います。この間あった国際交流事業、公開研究会の内容は。

大場教育長

海外派遣事業を10月23日から30日に実施しました。1年生から3年生合わせて10名の生徒が、オーストラリアでホームステイを体験しながら学校へ通学し、語学研修や異文化交流など校内外の研修に意欲的に取り組みました。

日本とは異なる体験は、必ず将来の糧になると思います。次に11月18日に、県内外



マウント・クーサにて

から多くの方を迎えて公開研究会を開催しました。研究主題を「みずから考え、豊かに表現できる児童生徒の育成」とし、教科等の学習に取り組む生き生きとした姿が生活や行動に表れています。学校づくりに教職員の意識は高く、教育目標の実現に向けた評価にも顕著に表れています。

県との協議の結果は

通年捕獲でききます

今野

狩猟期間なのでイノシシ3頭を捕獲したそうですが場所と、年中駆除できるように県と協議したと思うが、整ったのか。

高橋産業振興課長

イセファーム付近で1頭、南山付近で2頭をくり畷で捕獲しました。県と協議して、狩猟期間を除く2月16日から11月15日まで通年捕獲できるようにになりました。

今野

県との協議が整えば町の要綱は改正するのか。

高橋産業振興課長

色麻町有害鳥獣捕獲許可事務取扱要領の一部を変更するだけなので、すぐできるようにします。

高橋産業振興課長

捕獲するには免許は必要です。イノシシや熊は1頭8000円出ます。鳥類は2000円です。

今野

捕獲するには免許は必要ですが、自分の屋敷内は必要なのか。また、捕獲した者に対して補助金が出るのか。



被害を減らせるか 箱わな

畜産のさらなる振興を図れ

肥育農家に幾らか増額します



西村 義隆 議員

西村

子牛市場の高騰により、素牛として残す牛までも出ています。また、肥育農家へも影響が出始めており、繁殖・肥育農家への助成金の増額をすべきでないか。

町長

繁殖農家の方にはもう少し我慢をしてほしいと思います。肥育農家の方には現在3万円ですが、幾らか増額します。

西村

牛の飼養農家も高齢化が進み推肥の搬出が大変です。それを軽減するために、畜舎の改造や機械のリースなどに対し助成をして、畜産のさらなる振興を図るべきでないか。

町長

高齢者に対しての助成と言う気持ちはわかるが、国の助成事業もありませんし、町単独の事業として取り組むことも考えていません。



肥育農家は大変です

旧大村分校の跡地利用は

企業関係の利用を考えている

西村

旧大村分校の跡地利用については、北大村地区、南大村地区のセンター建てかえ時期と重なる所もあると思いますが、今考えている利用の方法はあるか。

西村

あの土地は、大村地区の皆さんが利用するために、寄附をされたと聞いているので企業などの利用を考えているのであれば、その時、地区民の採りも踏まえた利用をすべきではないか。

町長

どのような企業に来てもらえるかにもありますが、可能であれば、そのことについて配慮することは一向に構わないと思っています。

町長

地元の北大村、南大村で旧大村分校の跡地利用について、センターの建て替えも含めアンケートをとったようですが、今の場所がいいと言う意見が多いようです。町としても場所的に良い所なので、企業関係の利用を考えていきます。



新たな活用を待つ旧大村分校

幼稚園児へも給食費の助成を

来年度から実施します



相原 和洋 議員

相原

4月から小中学校の給食費は25%減額されています。町長の公約で50%減額をするということですが、公表されていますが、次年度以降、どのようにされるのか。

町長

4年間の公約ですので任期中どの時点かを捉えて、50%に近づけていきたいと思いますが、来年度については今年度と同じ考えです。

相原

現在、幼稚園児に関して、同じ給食センターから配送していますが、減額措置はとられていません。小学生は年間1万2000円、中学生1万3000円から1万4000円の減額ですが、幼稚園児については何もしていないとなると、整合性ということからして、い

かななものか。

町長

前向きに検討をさせていただきます。来年度からは幼稚園にも同じように25%の軽減実施をしたいと思っています。



4月から幼稚園も助成

資源としての空き家の有効利用を

手を加えればできると思っています

相原

空き家の現状を伺います。町の現状を把握したとき、防犯、環境保全、治安面に関してもよくない部分が出はじめ、問題化しつつあります。

町長

確認されているのが56軒です。そのうち使用可能と思われるのが26軒、修繕が必要と思われるのが15軒、荒廃している状況にあるものが15軒、合わせて56軒です。空き地も15軒ほどあり、使用可能なのが11軒、荒廃しているのが4軒、空き家と合わせて71軒です。

町長

現状をふまえたとき、ルームシェアやグループホーム的発想もしかるべきと思われませんが、ご所見を伺います。

相原

人口減に歯止めをかけ、定住促進を考えたとき、やはり有効利用すべきと考えます。新たな土地に助成し定住促進をはかると同時に、再利用できる資源の有効利用も一つの施策です。ひとり暮らしの老人の方が増えている

グループホームの利用の仕方もないとはいえないと思いますが、隣近所関係に迷惑にならないようにまず考えていかなければならないと思っています。その上で、手を加えれば何かと町で使えるというのであれば、そういうふうに行けると思いますが、そんなふうで、グループホームのようなそういう施設に利用ということについては、まだ考えておりません。

高齢者の足の確保を

介護認定を受ければヘルパーを使えます



佐藤 文洋 議員

佐藤

買い物支援ネットワーク構築ということで、高齢者の方々の足を今後、何らかの形で準備しなければならぬと思います。デマンドタクシー方式や、住民バス。あるいは高速バスなどに乗せてもらうように町からお願ひできないものか。

町長

高速バスの連結などについては考えておりません。介護認定を受けていればヘルパーを使えます。認定を受けていない人については、回答できません。

佐藤

登録すれば営業ナンバーを取らずとも運送業をしてもよいとの見直しがあり、地域のなかで、そのお宅の車を運転してあげたり、持っていないければ自家用車で送迎するな

ど、登録制のような形でモデル地域をつくり行っているとはどうかなど、提案したいと思うのですが、いかがでしょうか。

町長

シルバー人材派遣センターが立ち上がり、白タク行為ということが、登録制ということ認められた場合、その分野についても派遣できるのではないのかという考えもあるんです。検討をしたいと思います。

佐藤

町長は以前より道の駅の構想があるのだということ、町内にも道の駅をつくらせていきたいというような話をたびたび伺っております。町のPRや、色麻に来た人たちの憩いの場、特産品の販売などにより活性化が期

アンテナショップの設置を 検討課題とします

待できるとのこと。町長の道の駅構想をお伺いします。

町長

考えのなかにはあるんですけど、具体化は全くまだしていません。

佐藤

色麻町をPRするために道の駅構想があるというのであれば、アンテナショップ的なものをつくり、町をPRする特産品を発信した方が非常に有効な手段ではないかと考えます。仙台の一等地にアンテナショップ的なものをつくるのが検討課題になるのではないかと提案したいと思います。

町長

アンテナショップという方法もあると思います。あくまでも検討しなくてはならない課題だとさせていたいただきたいと思ひます。



農家の手取りを増やすアンテナショップを

青年就農者への手厚い支援を

先進事例を知りませんでした



小松 栄喜 議員

小松

青年就農給付金制度という新規就農者に対する給付金制度がありますが、その内容は。

高橋産業振興課長

新規就農者になった場合、1人当たり年間最大150万円を5年間給付される制度です。

小松

年間150万円ということですが、所得で250万円以上上げますと、そこでカットになるといいう制度です。将来を担う若者たちが、この給付金を利用して頑張っている。さらに町独自の制度資金を設けてみてはどうかと思うんです。岩手県洋野町のような先進事例（最大3年間、月3万円）もあります。いかがですか。

町長

先進的な事例というものは、よく存じていないかなのですけれども、いづれにしましても、これからどう捉えるかは別として、今のところは、町としての独自の考えは持っています。

町推奨作物を重点的に推進すべし

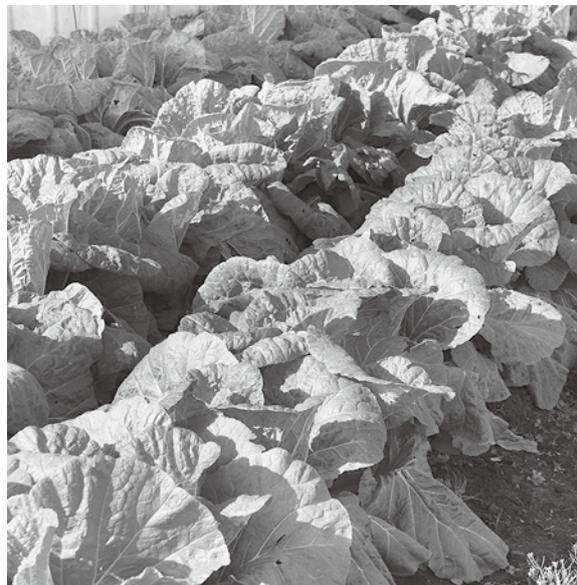
もちろん重点的に推進します

小松

野菜生産転換促進事業については来年度からの事業ですが、今後どのような検討をなさってゆくのか。

町長

水田を野菜に転換するという国の方針が出ました。具体的内容については、まだ国からはたしかお示しされていないと思いますので、それを受けて対応していくということに今のところしております。



奨励作物の白菜

小松

9月会議時点で果樹の面で、イチジクなどと答弁しておりましたが、その前に町で推奨している作物がありますので、その作物を重点的に推進しながら、新しい作物にしていくのが筋かと思われ

高橋産業振興課長

特定作物として町で推進している野菜等がございます。もちろんそれらを重点的に推進していきますが、この事業はまだ具体化されておりませんので、29年度に予算計上するかは今後の課題になると思います。

議会活性化推進調査 特別委員会結果報告

地方分権の推進に伴い、自治体裁量権も拡大され、より一層の自主性、自立性が求められる中、議決機関である議会も同様に、自己決定、自己責任のもとに地域の実情に応じた多様な制度を選択し、住民の信頼と期待に添えていく必要がある。

新たな時代に対応するための議会改革に取り組んできたが、継続して検討を要する項目があるとし、平成28年3月16日に議会活性化推進調査特別委員を設置した。

調査経過

議会活性化推進調査特別委員会は、平成28年3月16日から12月14日まで11回開催し、前委員会から継続調査とした議会報告会をはじめ、平成28年度各々委員から提出された新たな検討項目を含め13項目について調査をおこなった。

毎年開催する

議会報告会については、議会懇談会に名称を改め、議長、副議長を中心にこなう。要綱は新たに作成し、平成28年度より毎年実施する。町政懇談会がある年は各種団体とおこない、無い年は全行政区を対象に懇談会をおこ

なう。その他詳細については、議長、副議長に一人することとした。

議員定数について

議会は執行部に対して批判監視、委員会活動をおこなうに適切な人数は何人かを基本に調査をおこなった。議会懇談会では、定数についての意見は少なかつたが、委員からは2人から4人削減すべき、また現状の16人などの意見があった。

議員報酬について

議会として避けて通れない問題であり、具体的な人数について意見の一致を見ることがなかつたので、現状のままとした。

すべき、議員定数とは別個に検討するなどの意見があり、また、若い人が立候補できるような報酬を引き上げるべき、現状のままでも良いなどの意見があり、意見の一致を見ることがなかつたので、現状のままとした。

一般質問について

質問時間の短縮や施の方針説明、一般質問の1回目の回答書の事前配布について審議。一般質問の1回目の回答書、施政方針説明の事前配布については、要請することで意見の一致を見た。尚、質問時間の短縮については意見の一致を見ることが無かつたので現状のままとした。

予算・決算委員会 審査方式について

これまで通りの議長を除く特別委員会方式での審査と各常任委員会での分科会方式による審査の意見になったことにより、意見の一致を見ることがなかつたので現状のまま

とした。

議会基本条例について

時間をかけて本町議会にあつた議会基本条例を制定することで、全委員の意見の一致を見た。

議会の開閉時間について

会議時間を現在の時間より延長することで全委員の意見の一致を見た。

反問権について

反問権を付与する、付与しないとの意見があり、意見の一致を見ることがなかつたので現状のままとした。

葬祭規程について

廃止する、見直しすべき、現行のままの意見があり、意見の一致がなされないため現状のままとした。

災害時の対応について

災害時の議員の緊急時マニュアルを作成することと全委員の意見の一致を見た。

ペーパーレス化について

現状のままで良い、費用対効果の観点から時期早尚の意見があり、意見の一致を見ることがなかつたので現状のままとした。

情報公開について

議会議事録及び議長交際費のホームページでの公開については、公開することで全委員の意見の一致を見た。

特別委員会の方向性

本委員会で決定した事項など調査を継続する必要があるため、特別委員会の設置することで全委員の意見の一致を見た。

行政視察報告

議会運営委員会

鹿追町議会の議会活性化の取り組みについて調査をおこなった。

平成21年6月に具体的に改革を進めるため「議会改革・活性化調査特別委員会」を設置し、議員定数報酬、議員資質向上、委員会活動等多角的な議論を重ねた。

鹿追町議会の目指す姿は「住民参加型の開かれた親しまれる分かりやすい議会」との結論に至った。平成22年4月に議会基本条例を制定している。

まちなか会議

住民と直接対話をおこない、要望、要請、意見、提言などは常任委員会に振り分けて検討している。町への要望、要請は協議をおこない広報紙や質問者へ直接回答、報告している。

第三者審議設置

町民参画により議会活動を図るべく、5人の委員を公募して第三者審議会を設置しました。議員定数、報酬などを諮問し、定数と報酬は現状維持が望ましいが、報酬は将来

的に引き上げも必要と答申されている。

政務活動費の導入

議員の調査研究に資する経費として月額1万円の交付を、平成23年3月から実施している。

まとめ

開かれた、親しまれる議会にどうすれば町民の方々に議会を身近に感じる事ができるか、また、実効性のある議会活動をするか、議決機関としての権能を果たせるか、課題を整理し議論を深めなければならぬと感じた。

産業民生常任委員会

兵庫県福崎町の特産品のブランド化に向けた取り組み、自立のまちづくり交付金制度について視察研修をおこなった。

田原村、八千種村及び福崎町が、昭和31年5月3日に合併して現在の福崎町が誕生した。

特産品への取り組み

昭和30年代まで、もち麦が栽培され、主に団子にして食べられていた。

その後、食生活の変化により食べられなくなり栽培も途絶えた。町の特産品を考える中で、もち麦の試験栽培を昭和61年から行い、加工食品などの研究を重ね、町の特産品として復活を遂げた。

参画と協働のまちづくり

町は強制されることなく、ほんの僅かな気持ちでいいからよい町をつく



研修地にて

ろつと行動する人を増やすことにより、まちづくりを進めるため、地域づくり推進事業を制度化した。この事業は、住民の連携と協働の中で、自治会活動や住民活動を通じて魅力あるまちづくりを推進するため、各自治会を対象に支援する事業です。平成28年度は、33の自治会から総額1100万円の交付申請が提出されている。

まとめ

地域にゆかりのあるもち麦を復活し、地域ブランドに定着させた福崎町の取り組みは、大変参考となった。本町でも農業を成長産業としていくには、生産者、関係団体、行政の連携が欠かせないことを改めて感じた。

議会広報常任委員会

議会広報の編集方針は、町民の皆様にご覧いただき、読んでいただけることを第一としています。町民と議会のパイプ役との考えに立ち、簡潔・公正を基本に審議過程を可能な限り掲載しています。また、議員のみで編集・発行していることから研鑽、研究が必要となってくる。今回は新人議員が加わったことから、基本に返って編集技術向上を目指し研修会に参加した。

分かりやすく、伝わる

「広報紙の読まれ方」、「伝わる文章とは」と題して住民に読んでいただくため必要なものは何か。読み手のことを考えて書く。短く書く。重複を省く。具体的に書く。この3つが伝わる文章を書くための具体的な方法と講義があった。

読まれて伝わる

そもそも議会広報を発行する目的は何か。住民と議会との良好な関係を作り、議会への関心を高め、共に良い地域社会を作っていく。広報紙は、すべて伝えることはできない。広報紙をきつ



シェーンパッハサポー前

まとめ

本町の議会たよりは良いところもあれば、改善しなければならない点もあった。一般質問の文章を統一する、条例の中身を説明すべし、余白の取り方が少ないなどの指摘を受けた。全てを全国レベルといかないが改善し、せめてニュース性のある紙面としたい。

吉田地区

早坂美奈さん

充実した子育て支援

助かっています

色麻町に住み始めて6年、以前は通り過ぎて立ち寄ることが少なかったけど住んでみて気づいたことが多くあります。

まずは、子育て支援を

サポートする制度が充実していること。子どもと一緒に愛々童夢の「子育て支援センター」を利用して、七夕会や運動会など行事に参加して子育て中のママたちと自由に話し合ったり、子育ての悩みを相談できたり、交流をもつことで私もホッと安心できる機会を頂きました。また、昨年は子ども園に入園して町からの利用者負担軽減措置もあることが分かり、今まで気づかなかったところでサポートを受けることができて助かっています。

次に、子どもの健康のため、健康診断や予防接

種が充実していること。

乳幼児・児童医療費助成制度がしっかりしていて、18歳まで医療費の自己負担分を全額補助されることは助かります。また、

近くの公立加美病院に小児科が新設され、発症した際にはすぐに診てもらえることができ、予防接種も計画して受けやすく、とても安心です。

これから、ますます子どもが外で走り回ったり、

自転車などで遊ぶことが増えると思いますが、休日に自然に触れながら安全に遊べる公園施設が近くにあると良いと思います。

最後に、大人が温かく子どもを見守っている町だからこそ、安心して子育てができると感じています。これからも住みよい町づくりをよろしくお願ひします。



大好きなミニーちゃんと

あなたの議会を傍聴してみませんか

(手続き簡単・住所と名前を書くだけです)

次の会議は

3月6日(月)からの予定です。

編集後記

第72代横綱が誕生。初場所を14勝1敗の成績で優勝した「稀勢の里」がようやく夢にたどり着いたのだ。愚直なまでに相撲に打ち込んだひたむきな姿は多くの人々に感動を与え喜びを共有させてくれた▼彼方第45代米国大統領のトランプ氏。就任時の支持率が40%と過去最低を記録、首都ワシントンでの反トランプデモには約50万人が参加したとか▼おじいさんの在職日数を軽く超えた第96代内閣総理大臣は、そのトランプ氏に大統領選終了早々面会するフットワークの軽さを見せた。TPPに関しては腰を据えて理解を求めると述べているが：▼大関昇進以降何度も賜杯に迫りながらはね返された。「相撲は我慢だ」先代親方の教えを守っての悲願達成に拍手喝采。日米のトップも見習ってほしいものだ。

文責 今野 公勇

議会広報常任委員会

- 議長 佐藤 貞善
- 副委員長 今野 公勇
- 委員 佐藤 文洋
- 委員 今野 和洋
- 委員 相原 栄喜
- 委員 小松 一男
- 委員 小川 昭憲
- 委員 工藤 秀実
- 委員 天野 哲
- 委員 中山